

令和6年度日米豪指揮所演習（YS-87）に係る
横田基地への輸送機飛来について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地周辺市町基地対策連絡会は、下記のとおり口頭要請を行いましたので、併せてお知らせします。

記

1 情報提供内容

- (1) 別紙1、別紙2及び別紙3のとおり
- (2) その他

・飛来予定

往路：12月2日（月）※訓練参加者は当日中に陸上自衛隊車両に
より朝霞駐屯地へ移動

復路：12月16日（月）～18日（水）のうち1日

2 口頭要請内容

- (1) 要請日
令和6年11月29日（金）

- (2) 要請先
北関東防衛局長

(3) 要請内容

令和6年11月27日(水)に北関東防衛局から、「令和6年度日米豪指揮所演習(Y S - 8 7)へ参加する米軍人の人員輸送のため、米軍機が横田基地に飛来する予定である」との情報提供がありました。

貴職におかれましては、次の事項について、訓練に関わる陸上自衛隊に周知するとともに、米軍横田基地に申し入れるよう要請します。

- 騒音が増加することがないように周辺住民に十分配慮すること。
- 市街地上空での低空・旋回飛行は行わないこと。
- 基地外に影響を及ぼさないよう安全対策の徹底を図ること。
- 通常の運用時間帯以外での航空機の運用を極力実施しないこと。

陸上自衛隊 ニュースリリース

JGSDF News Release

<https://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>

(お知らせ)

令和6年11月8日
陸上幕僚監部

令和6年度日米豪共同指揮所演習（YS-87）の概要について

陸上自衛隊は、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化するとともに、日米豪3か国の連携を強化し、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に一層寄与すべく、以下のとおり令和6年度日米豪共同指揮所演習（YS-87）を実施します。

1 目的

陸上自衛隊、米陸軍、米海兵隊及び豪陸軍が共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練し、その能力の維持・向上を図る。

2 期日

令和6年12月2日（月）～12月14日（土）

3 場所

朝霞駐屯地、健軍駐屯地等

4 演習実施部隊等

(1) 自衛隊

ア 統裁官	陸上幕僚長	陸 将	もりした 森下 泰臣
イ 演習部隊長	陸上総隊司令官	陸 将	やすのり やまね としかず 山根 寿一
	東部方面總監	陸 将	とがし ゆういち 富樫 勇一
	西部方面總監	陸 将	あらい まさよし 荒井 正芳
ウ 実施部隊	陸上幕僚監部、陸上総隊、東部方面隊、西部方面隊、教育訓練研究本部、補給統制本部等		
エ 協力部隊等	統合幕僚監部、海上自衛隊、航空自衛隊等		

(2) 米軍

ア 統裁官	太平洋陸軍司令官	陸軍大将	ロナルド・P・クラーク
イ 演習部隊長	第1軍団長	陸軍中将	マシュー・W・マクファーレン
	第3海兵機動展開部隊司令官	海兵隊中将	ロジャー・B・ターナー
ウ 実施部隊	太平洋陸軍司令部、在日米陸軍司令部、第1軍団、第3海兵機動展開部隊、第3マルチドメイン・タスクフォース、第593兵站コマンド等		
エ 協力部隊等	太平洋艦隊、太平洋空軍等		

(3) 豪陸軍

ア 演習部隊長	第1師団長	陸軍少将	アッシュ・コリンバーン
イ 実施部隊	第1師団		

5 特 色

- 我が国を取り巻く安全保障環境に応じ、約40年にわたり演習内容を進化させるとともに、昨年より豪陸軍の参加、今年は第3海兵機動展開部隊の本格的参加等を得て発展を遂げてきた陸自最大規模の指揮所演習
- 本年は、島嶼防衛を含む各種事態を想定し、米海兵隊の参加も得て陸上自衛隊の領域横断作戦（CDO）、米陸軍のマルチ・ドメイン・オペレーション（MDO）及び米海兵隊の機動展開前進基地作戦（EABO）を踏まえ、豪陸軍を加えた日米豪共同による島嶼防衛作戦を演練

令和6年度日米豪共同指揮所演習(YS-87)の概要

名称

本演習の通称：YS-87（ヤマサクラ87）
日米の部隊章「富士山」と「桜花」が由来

演習目的

陸上自衛隊、米陸上部隊及び豪陸軍が共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練して、その能力の維持及び向上を図る。

日時

令和6年12月2日（月）～12月14日（土）

場所

朝霞駐屯地、健軍駐屯地 等

演習参加部隊

自衛隊	米豪軍
陸上総隊、東部方面隊、西部方面隊 他 計 約5,500名	米軍：第1軍団、第3海兵遠征軍、第7歩兵師団 等 (在日米軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍等が支援) 計：約1,350名 豪軍：豪陸軍第1師団 約250名

演習の概要

- 日米豪の指揮幕僚活動の能力向上を目的とした、陸自の最大かつ最重要の日米豪の共同演習
- より効果的な演練のため、日米豪の共同により年間を通じた演練を実施
- 演習内容は、着上陸侵攻する敵部隊を撃破する作戦を基本とし、この作戦を日米豪の共同で演練
- 昨年に引き続き豪陸軍が演習部隊として参加
- 同志国からのオブザーバーが研修予定

演習の形態

各駐屯地等において対面による指揮所活動を実施するとともに、TV会議の活用も含めた訓練を実施

昨年度の訓練イメージ

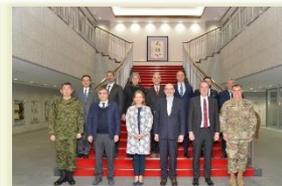
<YS-85（昨年度）の状況>



【訓練開始式】



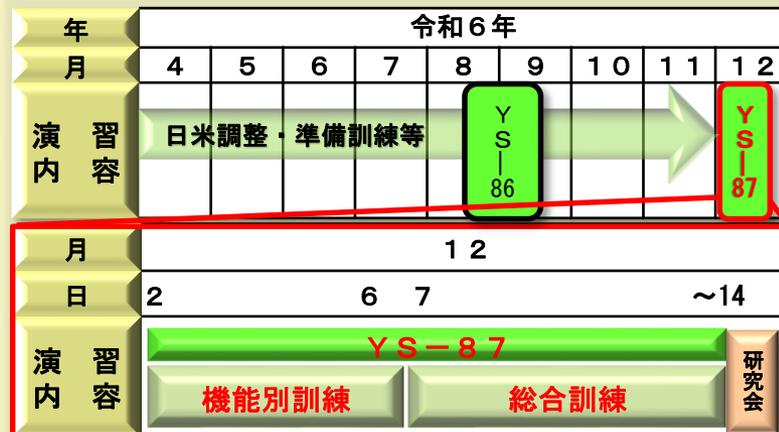
【同志国による研修】



【NATO大使等の視察】



【幕僚間の調整】



朝霞駐屯地におけるYS-87について

訓練目的

演習における陸上総隊司令部及び東方総監部としての指揮幕僚活動能力の向上

参加部隊

【陸上自衛隊】

陸上総隊、東部方面隊、教育訓練研究本部 他 計：約3,800名

【米軍】

第1軍団、在日米陸軍司令部 他 計：約1,200名

【豪陸軍】

豪第1師団 計：約150名

訓練日程

月	12月													
日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
自衛隊	機能別訓練					総合訓練							研究会	

※ 演習期間の前後約1週間に準備及び撤収のため期間を設定

参加部隊の行動予定

【陸上自衛隊】

朝霞駐屯地に所在する陸上総隊司令部及び東部方面隊の要員の他、目黒駐屯地の教育訓練研究本部の要員を基幹として、各方面隊等からの増援を受けて本訓練に参加

【米軍】

第1軍団の他、在日米陸軍司令部の要員等をもって本訓練に参加

【豪陸軍】

豪第1師団の要員をもって本訓練に参加

参加部隊の宿泊予定

訓練間、訓練参加者は朝霞駐屯地及び練馬駐屯地に宿泊予定（一部は近傍の宿泊施設を利用）

横田基地に飛来する外国軍航空機

別紙 3

国名	機種	機数	滞在期間 (調整中)
米国	C-130	2機	(往)12/2 (復)12/16~12/18(内1日)



米国 C-130